

国営環境保全型かんがい排水事業「羽地大川地区」

着工までの経緯

沖縄本島北部の名護市の中南部から北部一帯、今帰仁村東部及び古宇利島を含む羽地大川地区の中心である羽地地区は、古くから水田が多く、米どころとして知られていました。

その一方で、羽地大川の度重なる氾濫や干ばつによる水不足により水田が大きな被害を受け、「蔡温の羽地川治水事業」を始めとする河川の改修や、水田の基盤整備等が行われてきました。



改決羽地川碑記

この石碑は、具志頭親方蔡温が1735年の豪雨によって、多くの美田が荒廃した羽地大川を改修した業績を記したものです。



位置図：羽地大川地区



干ばつにより枯れた作物と給水車によるかんがいの様子

昭和37年頃から、沖縄の他地域と同様に水田からさとうきび畑への転換傾向が進み、水田面積は大きく減少しました。ところが、この畑作中心の農業では畠地かんがい施設が皆無のため、干ばつ時には多大な被害にあうようになりました。

昭和47年の本土復帰後、羽地大川流域とその周辺地域や屋我地島で畠地かんがい施設、ため池整備等の事業がいくつか行われますが、いずれも小規模な整備にとどまっていました。

地元の度重なる要望に応え、昭和60年、水不足を解消する新たな水源として真喜屋ダムを建設する国営かんがい排水事業「羽地大川地区」がスタートしました。

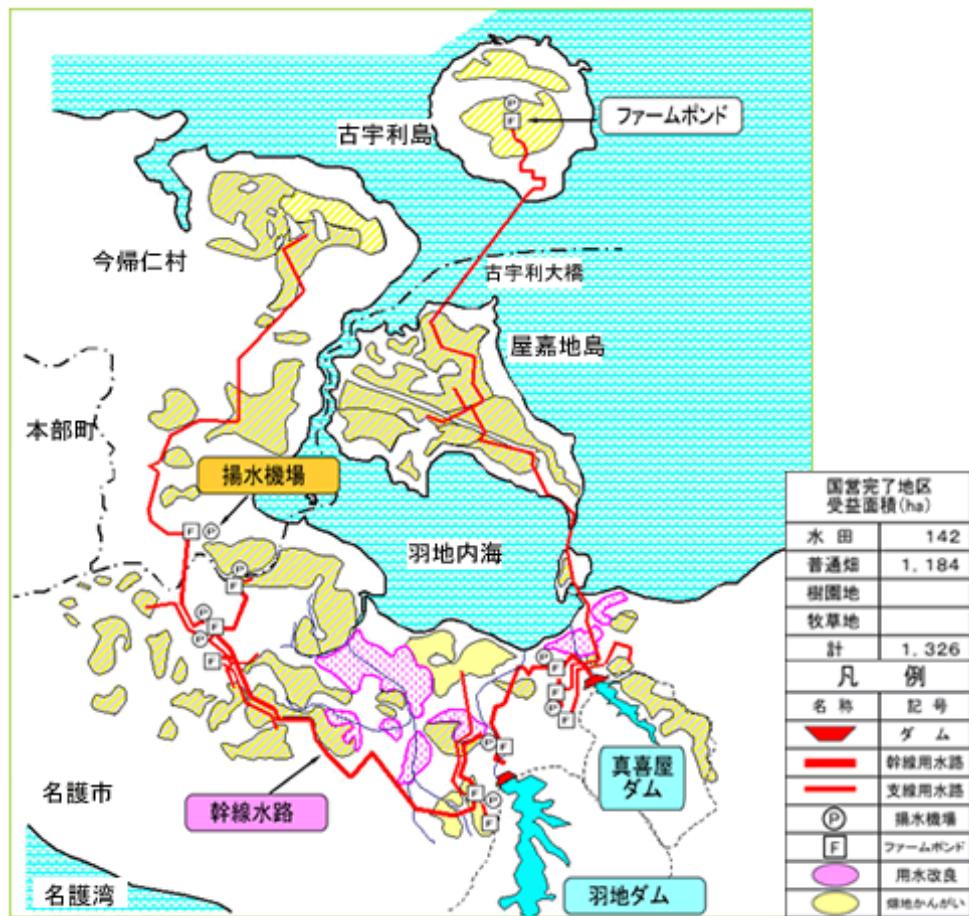
国営環境保全型かんがい排水事業「羽地大川地区」

事業内容①

本事業は、沖縄本島北部の名護市、国頭郡今帰仁村の142haの水田と1,184haの畑地を合せた1,326haを対象に、用水改良142haと畑地かんがい1,184haを行い、生産性の向上と農業の近代化を図り、農業経営の安定を目指しています。

このため、本事業により新設する真喜屋ダム(堤高33.6m、堤長171.1m、有効貯水量1,260千m³)、揚水機(9箇所)、用水路(総延長約100km)等のかんがい施設を整備し、併せて関連事業による末端用水路等の整備を実施しました。なお、地区の不足する用水は、沖縄総合事務局開発建設部が建設した羽地ダム(特定多目的ダム)にも依存しています。

また、本事業は関係行政機関との連携のもとに、耕土流出防止に有効な環境保全型農業の普及・定着を図り、もって地域の環境保全を目指しています。



工期

昭和60年度着工～平成18年度完了

受益地

受益面積 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	計 (ha)
	142	1,090	—	94	1,326
市町村名	名護市、今帰仁村				

水源

本事業の水源は、地区内を流れる羽地大川、真喜屋大川、満川及び我部祖河川に加えて、真喜屋大川に新設する農業専用の真喜屋ダムと羽地大川に建設された羽地ダムにより確保しています。また、既設取水施設である満川ダム、内原ダム、伊差川頭首工及び奈佐田頭首工を効率的に活用しています。

●貯水池

貯水池名	項目	流域面積 (km ³)	かんがい面積 (ha)	純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)
真喜屋ダム		4.2	515	1,260	1,470	1.2	0.36
羽地ダム (特定多目的ダム)	<参考>	10.9	1,326	7,100	7,700	1.1	1.04

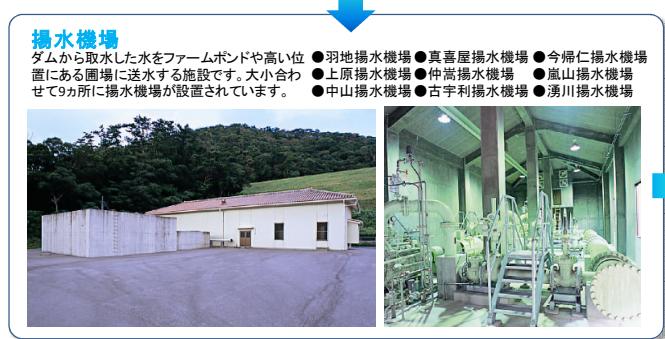
国営環境保全型かんがい排水事業「羽地大川地区」

事業内容②

配水方法

ダムからほ場までの配水は、次のように行われます。

- ① ダムに貯まった水は、揚水機場に運ばれます。
- ② 揚水機場からファームポンド(水をいったん貯めるタンク)へ送ります。
- ③ 高い位置にあるファームポンドに送られた水は、高低差を利用して低い位置にあるほ場へ送られます。
また、高い位置にあるほ場には揚水機場のポンプで水圧を上げて送ります。
- ④ ほ場に届いた水は、スプリンクラー等から作物にかんがいされます。



国営環境保全型かんがい排水事業「羽地大川地区」

事業内容③

主な施設

真喜屋ダム



流域面積	4.15km ²
総貯水量	1,470千m ³
有効貯水量	1,260千m ³
高さ	33.6m

揚水機場



羽地揚水機場

揚水機場名	揚水量
真喜屋	0.26m ³ /s
上原	0.02m ³ /s
羽地	0.37m ³ /s
仲嵩	0.02m ³ /s
中山	0.05m ³ /s
今帰仁	0.11m ³ /s
湧川	0.02m ³ /s
古宇利	0.04m ³ /s

ファームポンド



6号ファームポンド



8号ファームポンド



古宇利ファームポンド

配水池名	受益面積
1号	367ha
2号	41ha
3号	77ha
4号	115ha
5号	193ha
6号	224ha
7号	-
8号	58ha
古宇利	73ha
仲嵩	36ha

用水路



古宇利大橋パイプライン

用水路名	延長(km)	用水路名	延長(km)
羽地ダム幹線	0.5	真喜屋ダム幹線	0.7
羽地幹線	1.9	真喜屋幹線	0.3
羽地支線	2.6	屋我地支線	7.0
伊佐川幹線	6.1	屋我地第16支線	0.5
伊佐川支線	1.4	古宇利支線	6.0
屋部幹線	0.7	真喜屋上原幹線	0.4
為又支線	1.8	真喜屋補給幹線	2.3
嵐山支線	0.2	仲嵩送水路	0.7
嵐山幹線	1.1	今帰仁東部幹線	2.7
中山支線	1.9	その他支線用水路	62.1
小計	18.2	小計	82.7
		合計	100.9

国営環境保全型かんがい排水事業「羽地大川地区」

事業の効果

ほ場へのかん水の様子



ほ場へ届いた水は、スプリンクラーやかん水チューブ等によってかん水されます。給水栓のコックを回すだけで指定した量のかん水が自動で行うことができます。

耕土流出防止対策の様子

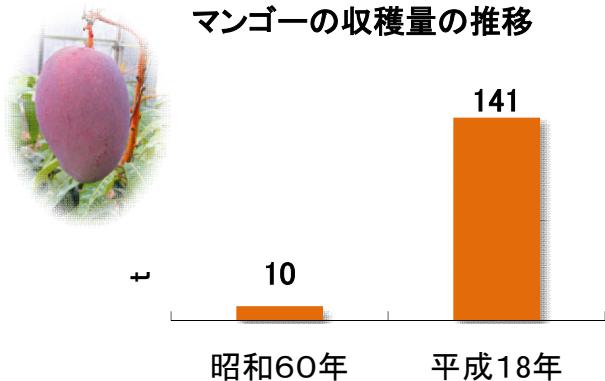


農業用水の供給を契機としたハウスの導入、耕耘時期の変更、作物栽培未実施時期での緑肥栽培、マルチングや土作りなど耕土流出を心がけた営農により、美しい海が守られます。

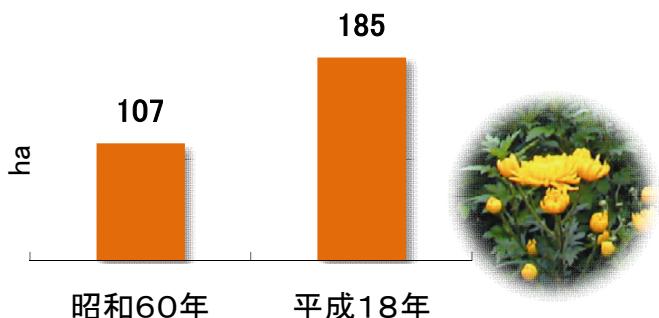
土地生産性

昭和60年(整備前)と平成18年(整備中)を比較すると、本地域を含む名護市及び今帰仁村全体で、収益性の高いマンゴーの収穫量及びキクの作付け面積ともに増加しています。

マンゴーの収穫量の推移



キクの作付け面積の推移



農家の声



水の苦労から一転、新たなスタートができます。

名護市饒平名(屋我地島)
玉城 昭宏・康成さん

さとうきび、パパイア、ウコン、オクラ、パッションフルーツと他品種を栽培する玉城さん親子。「とにかく軽トラックで水を運ぶ毎日でした。」「それでも足りなかった。」農作業の約半分は水の確保に費やされていましたと振り返る。現在は全ての農地に配水管が届いた。「これからは水に費やした労力を栽培に向ける。」これを機に約900坪のハウスを新設し、キュウリとゴーヤーの栽培が始まっている。玉城さん親子の新たなスタートが始まる。



米どころ 「羽地ターブックワー」。

名護市田井等
川上 達也さん

昔から「羽地ターブックワー」と呼ばれ、本島有数の米どころとして知られた名護市羽地。代々の稻作農家で、現在10,000坪での米づくりをしている。温暖な気候を利用した二期作で、一期目は6月末の刈取り、二期目は11月上旬の刈取りで、過去には水不足で二期目が作れなかつた時があったという。今はその心配もなく、米どころ羽地の伝統を守りながら、よりおいしい米づくりに励んでいる。